# 貸 借 対 照 表

# 2023年 3月31日

[法人総合] (単位:円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	233, 616, 366, 840	231, 579, 605, 098	2, 036, 761, 7
有形固定資産	127, 560, 736, 924	128, 575, 673, 891	$\triangle$ 1, 014, 936, 9
土地	17, 451, 765, 224	17, 451, 765, 224	
建物	78, 246, 061, 846	80, 332, 701, 701	$\triangle$ 2, 086, 639, 8
構築物	3, 632, 699, 647	3, 910, 071, 982	$\triangle$ 277, 372, 3
教育研究用機器備品	6, 722, 867, 168	7, 665, 837, 510	$\triangle$ 942, 970, 3
管理用機器備品	137, 660, 964	173, 642, 537	$\triangle$ 35, 981, 5
図書	18, 732, 307, 739	18, 518, 318, 531	213, 989, 2
車両・舟艇・航空機	16, 834, 986	17, 670, 636	$\triangle$ 835, 6
建設仮勘定	2, 620, 539, 350	505, 665, 770	2, 114, 873, 5
特定資産	104, 024, 470, 275	100, 633, 473, 359	3, 390, 996, 9
第2号基本金引当特定資産	10, 080, 000, 000	11, 040, 000, 000	$\triangle$ 960, 000, 0
第3号基本金引当特定資産	20, 825, 252, 527	20, 305, 252, 527	520, 000, 0
退職給与引当特定資産	14, 119, 217, 748	14, 288, 220, 832	$\triangle$ 169, 003, 0
減価償却引当特定資産	59, 000, 000, 000	55, 000, 000, 000	4, 000, 000, 0
フの他の国台次文	0 001 150 641	0 070 457 040	A 200 000 0
その他の固定資産	2, 031, 159, 641	2, 370, 457, 848	$\triangle$ 339, 298, 2
借地権	208, 602, 442	208, 602, 442	
電話加入権	19, 541, 734	19, 541, 734	716.4
施設利用権	24, 696, 517	25, 412, 966	$\triangle$ 716, 4
ソフトウエア	206, 132, 047	236, 056, 086	$\triangle$ 29, 924, 0
有価証券	20,000,000	20, 000, 000	A 200 274 7
長期貸付金	1, 479, 342, 388	1, 788, 717, 107	$\triangle$ 309, 374, 7
支払保証金	72, 312, 513	71, 595, 513	717, 0
出資金	532,000	532, 000	
	37, 761, 066, 872	37, 255, 750, 771	505, 316, 1
現金預金	25, 761, 375, 833	26, 734, 700, 433	$\triangle$ 973, 324, 6
未収入金	1, 136, 933, 128	731, 662, 932	405, 270, 1
短期貸付金	85,000	85, 000	100, 210, 1
金銭信託	10,000,000,000	9, 000, 000, 000	1,000,000,0
前払金	370, 255, 180	291, 240, 948	79, 014, 2
<u> </u>	261, 806, 151	222, 534, 942	39, 271, 2
修学旅行費預り資産	230, 611, 580	275, 526, 516	$\triangle$ 44, 914, 9
/k ナ の 切 入 う	071 077 100 710	000 005 055 000	0.540.055.0
資産の部合計	271, 377, 433, 712	268, 835, 355, 869	2, 542, 077, 8

[法人総合] (単位:円)

名法の対			(十) 立:[1]
負債の部 科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	14, 144, 901, 118	14, 328, 091, 588	△ 183, 190, 470
長期未払金	7, 223, 370	20, 270, 756	$\triangle$ 13, 190, 470 $\triangle$ 13, 047, 386
退職給与引当金	14, 119, 217, 748	14, 288, 220, 832	$\triangle$ 169, 003, 084
受入保証金	18, 460, 000	19, 600, 000	$\triangle$ 109, 003, 084 $\triangle$ 1, 140, 000
文八床皿亚	10, 400, 000	19,000,000	1,140,000
流動負債	12, 948, 674, 486	13, 223, 245, 855	$\triangle$ 274, 571, 369
未払金	1,046,608,933	1, 169, 934, 475	$\triangle$ 123, 325, 542
前受金	10, 037, 586, 218	10, 272, 983, 500	$\triangle$ 123, 323, 342 $\triangle$ 235, 397, 282
預り金	1, 618, 823, 857	1, 492, 167, 057	126, 656, 800
修学旅行費預り金	230, 611, 580	275, 526, 516	$\triangle$ 44, 914, 936
仮受金	15, 043, 898	12, 634, 307	2, 409, 591
(人文业	10, 040, 000	12, 004, 001	2, 403, 531
負債の部合計	27, 093, 575, 604	27, 551, 337, 443	△ 457, 761, 839
X K V III II	21, 000, 010, 001	21, 661, 661, 116	
純資産の部	<u> </u>		
<del>, <u>-                                   </u></del>	本年度末	前年度末	増減
基本金	265, 758, 883, 759	264, 895, 171, 162	863, 712, 597
第1号基本金	230, 743, 631, 232	229, 439, 918, 635	1, 303, 712, 597
第2号基本金	10, 080, 000, 000	11, 040, 000, 000	△ 960, 000, 000
第3号基本金	20, 825, 252, 527	20, 305, 252, 527	520, 000, 000
第4号基本金	4, 110, 000, 000	4, 110, 000, 000	0
繰越収支差額	$\triangle$ 21, 475, 025, 651	$\triangle$ 23, 611, 152, 736	2, 136, 127, 085
翌年度繰越収支差額	$\triangle$ 21, 475, 025, 651	$\triangle$ 23, 611, 152, 736	2, 136, 127, 085
		, , ,	, ,
純資産の部合計	244, 283, 858, 108	241, 284, 018, 426	2, 999, 839, 682
負債及び純資産の部合計	271, 377, 433, 712	268, 835, 355, 869	2, 542, 077, 843

(注記)

### 1. 重要な会計方針

## (1)引当金の計上基準

## 徴収不能引当金

長期貸付金及び未収入金の徴収不能に備えるため、徴収不能実績率等により、徴収不能見込額を計上している。

## 退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、大学等の教職員に係る退職給与引当金については、大学等の教職員にかかわる期末要支給額15,338,122,975円の100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上し、高等学校以下の教職員に係る退職給与引当金については、高等学校以下の教職員にかかわる期末要支給額4,633,717,100円から京都府等の私学退職金財団からの交付金相当額を控除した金額の100%を基にして計上している。

## (2)その他の重要な会計方針

## 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法は移動平均法に基づく原価法である。

# 預り金その他の経過項目に係る収支の表示方法

預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。

2. 重要な会計方針の変更 該当なし

**3. 減価償却額の累計額の合計額** 103, 664, 265, 942円

**4. 徴収不能引当金の合計額** 455, 998, 585円

5. 担保に供されている資産の種類及び額 該当なし

6. **翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額** 第 1 号基本金 64,603,754円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策 第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

#### 8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

#### (1)有価証券の時価情報

①総括表

(単位·四)

			(単位:円)
	当	)	
	貸借対照表 計上額	時 価	差額
時価が貸借対照表計上額を 超えるもの	19, 698, 226, 000	20, 950, 216, 412	1, 251, 990, 412
(うち満期保有目的の債券)	(10, 798, 226, 000)	(10, 923, 480, 000)	(125, 254, 000)
時価が貸借対照表計上額を 超えないもの	57, 619, 366, 655	56, 265, 336, 621	△ 1, 354, 030, 034
(うち満期保有目的の債券)	(33, 298, 718, 000)	(32, 724, 210, 000)	(\( 574, 508, 000) \)
合 計	77, 317, 592, 655	77, 215, 553, 033	△ 102, 039, 622
(うち満期保有目的の債券)	(44, 096, 944, 000)	(43, 647, 690, 000)	(△ 449, 254, 000)
時価のない有価証券	768, 940, 527		
有価証券合計	78, 086, 533, 182		

#### ②明細表

(単位:円)

	当年度(令和5年3月31日)			
種類	貸借対照表 計上額	時 価	差額	
債 券	44, 096, 944, 000	43, 647, 690, 000	△ 449, 254, 000	
株 式	48, 442, 000	41, 605, 000	△ 6, 837, 000	
投資信託				
貸付信託				
その他	33, 172, 206, 655	33, 526, 258, 033	354, 051, 378	
合 計	77, 317, 592, 655	77, 215, 553, 033	△ 102, 039, 622	
時価のない有価証券	768, 940, 527			
有価証券合計	78, 086, 533, 182			

#### (2) 学校法人の出資による会社に係る事項

当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は次のとおりである。

#### ①名称及び事業内容

株式会社 同志社エンタープライズ ビルメンテナンス業、損害保険代理業、生命保険の募集に関する業務等

#### ②資本金の額

20,000,000円

## ③学校法人の出資金額等及び当該会社の総株式等に占める割合並びに当該株式等の入手日

④当期中に学校法人が当該会社から受け入れた配当及び寄附の金額並びにその他の取引の額

平成17年12月22日 20,000,000円 400株 総出資金額に占める割合

100%

(単	立	: F	円)	
0.7			~~	Ξ

当該会社からの受入額	特別寄付金	27,571,239
	施設設備利用料収入他	5,358,045
当該会社への支払額	(教) 委託費他	2,352,463,598

※受配者指定寄付金制度により、日本私立学校振興・共済事業団へ送金中の寄付金は含まない。

				(+III · I I)
	期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
当該会社への出資金等	20,000,000	0	0	20,000,000
当該会社への仮払金	0	0	0	0
当該会社からの未収入金	1,561,523	1,927,845	1,561,523	1,927,845
当該会社への未払金	5,542,539	5,542,539	6,828,681	6,828,681

⑤当該会社の債務に係る債務保証 学校法人は当該会社について債務保証を行っていない。

## (3)通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引

平成21年4月1日以降に開始したリース取引

リース物件の種類 リース料総額 教育研究用機器備品 17, 084, 736円 管理用機器備品

未経過リース料期末残高 5, 964, 818円 0円

(4)関連当事者との取引 該当なし

# (5)減価償却の方法

残存価額を教育研究用機器備品、管理用機器備品及びソフトウエアは零、左記以外の償却資産は5%とする定額法による減価償却を実施している。 主な耐用年数は以下のとおりである。

0円

建物 15~50年

構築物 10~30年

教育研究用機器備品、管理用機器備品 10~20年

ソフトウエア 5年